



2018～2019年度
国際ロータリー会長



Tagajo Rotary Club

RI club No. 13674
Since 1972.03.25

バリー・ラシン
Barry Rassin

(パハマ・East Nassau RC)

会長 宮城 順 幹事 引地 辰男

雑誌会報委員会

2018-19年度
国際ロータリーのテーマ

インスピレーション
になろう

第2520地区ガバナー

田中 堯史
(盛岡RC)

◇ 事務所/宮城県多賀城市八幡四丁目2-12 イトビル2F ◇ 例会日/木曜日 12:30～
TEL.022-366-4499 FAX.022-366-4548 ◇ 例会場/ホテル キャッスル プラザ 多賀城
◇ URL;http://www.tagajo-rc.com Email;info2@tagajo-rc.com 宮城県多賀城市桜木一丁目1-60
TEL.022-367-1111

2018年8月9日(木) 第2235回 今年度第6回例会

会場監督	横田 芳博
開会点鐘	12時30分
国歌斉唱	
ロータリーソング	我等の生業
ゲスト・ビジター紹介	

多賀城高校 主幹教諭 原田 実 様
二戸ロータリークラブ会長 工藤 篤 様

会長挨拶 宮城 順 会長

嵐の中お出でいただいた会員の皆さま、そして原田先生、工藤会長ありがとうございます。台風13号が福島沖まで迫っています。この後どうなるか心配ですが、足下悪い中、又、右手にギブスを付けてのご参加ありがとうございます。

さて、今週は2つピックスがありました。まず6日の月曜日、利府ロータリークラブへのメーキャップに5名で行ってまいりました。利府ゴルフクラブのクラブハウスの中という恵まれた環境でゴルフ好きにはたまらない例会場でした。他クラブの例会を拝見するのはとても刺激になると同時に自分たちの例会の有り方を見直す良いヒントにもなると感じました。

続いて7日の火曜日にインターアクトクラブ年次大会に当クラブIACの一年生3名と当クラブ委員会の関係者と同行しました。



非常に刺激を受けた年次大会です。今年は仙台市の常盤木学園で開催されこのような報告書「別紙」が配布されましたが、例年ですと各校IACの活動報告が

延々と繰り返されるのですが、今年は一味違いアイスブレーキングと称して知らないもの同士の隔たりを無くすイベントから始まり、映画を見てそれをどう感じるか、そのような自己啓発のような内容でした。生徒が自主的に考えながら研修プログラムを行うのは、今風のことで我が多賀城RCでもいつかは取り入れたいと思います。ロータリーのリーダーシップ研修が今年も予定されてまいるので、参加の意欲を持って取り組んでいただきたいと思います。研修は「真の日本人とは」というテーマで興味があったのですが、諸般の事情で3時頃撤退しました。どのような研修結果の発表があったのか生徒たちに聞いてみたいと思います。

私は年次大会でインスピレーションを受けてきました。ぜひ皆さんも外に出る機会を捕まえて「be the inspiration」を実践していただきたいと思います。

ビジターご挨拶

二戸ロータリークラブ会長 工藤 篤 様



岩手県二戸市にあります二戸ロータリークラブの会長をしている工藤 篤と申します。二戸市は青森県との県境にある小さな町です。

なぜ貴クラブに伺ったかと言いますと、私は鮎の生産をやっています、漁業協同組合の組合長を三十数年やっております。その昔、今は合併して加美町になりましたが、中新田町という町がありまして、鮎の里ということで当時の町長さんが熱心に生産をやっておりました。その施設を参考に私どもの組合で施設を作ったのですが、宮城鮎工房の新田さんをいう方と交流がありまして夏の暮れに意見交換などをして、そういう用務で来ました。そんな折、実は、私どものクラブでも例会のマンネリ化してしまっていて他のロータリーの例会を勉

強させていただきたいということでお邪魔させていただきました。先ほど会長さんから四つのテストの唱和のことで、色々ご意見を伺ってとても良かったと思えました。今日はありがとうございました。

幹事報告 引地辰男 幹事

◇国際ロータリー日本事務局より

・RYLAのご案内。

日時:2018年10月20日(土)14時～

10月21日(日)

会場:岩手県立県南青少年の家

□多賀城市民夏祭り実行委員会事務局より

・多賀城市民夏祭り「ザ・祭りIN多賀城」

車両通行許可証の送付について

□多高通信をいただきました。

◇塩釜東ロータリークラブより

・例会臨時変更のお知らせ

日時:8月22日(水)18:30～

会場:わたつみ

△前年度会長・幹事のご苦労さん会のお知らせ

日時:8月24日(金)18:30～

会場:和食の小島

△事務局夏期休業のお知らせ

2018年8月14日(火)～17日(金)

卓 話

「多賀城高校インターアクトクラブ活動報告」

担当:インターアクトクラブ委員会 赤坂 泰子委員長

本日はインターアクトクラブの生徒さんも出席の予定だったのですが、台風のために活動休止ということで顧問の先生お越しいただきました。年次大会に生徒さんも出席したので報告してもらおうと思ったのですが、宮城会長から大変詳しい報告がありましたので、ここは原田先生にお話いただきます。

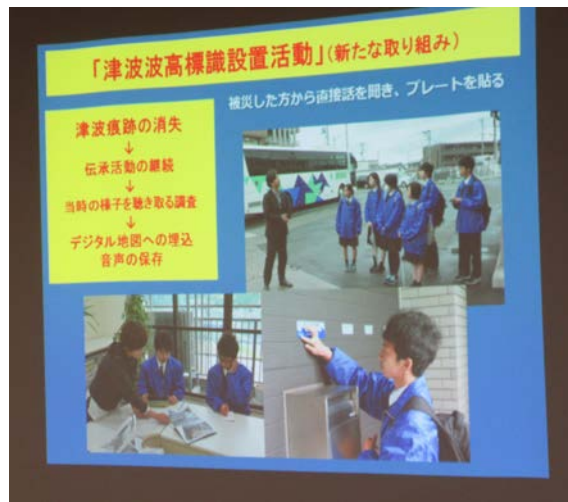
多賀城高校 主幹教諭 原田 実 様



こんにちは。初めに御礼とお詫びを申し上げたいと思います。普段から多賀城高校にご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございます。生徒も毎月のインターアクトクラブを楽しみにしておりまして、日頃教

員と接するだけの機会なので、様々なご指導やご助言をいただいて、生徒も張り切ってやっています。本日は生徒も楽しみにしていたのですが、台風13号の影響で今日は学校として活動中止ということで、本来なら生徒が参上して申し上げるべきところ申し訳ないのですが、私からご説明させていただきます。

多賀城高校のそもそもの活動ですが、東日本大震災後に教員と有志の生徒が津波跡を見つけて、その標識の設置を始めました。



これは電柱に表示していくのですが、電柱ごとに所有者が違いまして東北電力とかNTTとか様々ありました。それと住民の方のご理解をいただいて約110カ所にプレートは貼っています。ただ貼るだけではなく、それぞれの地域の津波の状況について聞き取りをして記録し、これを広く知ってもらい後世に残すということを考えながら活動していました。これが津波痕の確認と測量機材を使いまして、本格的な機材ではありませんが、生徒なりにきちんと測量するという事で津波の痕を計測しています。これが実際に街路灯に設置したものです。今は津波の痕が無くなってきていますので、新たな取り組みとして、津波痕標識の聞き取り、被災した方から話を聞きながらプレートを貼るということに切り替えました。今年度はロータリークラブの皆さまのご協力をいただいて、震災当時の様子や思いを聞きながら、3カ所に貼りました。あと、デジタル地図というのがあるのですが、電子データとしてしっかり残すということで、これを活動の柱としてやっております。

次に、せっかくプレートを貼ったので、これを案内するというボランティアを始めました。生徒会や防災委員の生徒たちがやっています。今日お渡しした資料の中にその地図が入っているのですが、生徒の手書きで書いたものです。イオン多賀城からスタートしてゴールは多賀城駅前にある震災モニュメントまでの1時間くらいのボランティアですが、これは宮内地区の震災の様子をイオン多賀城の駐車場の上で説明し始めて、45号線を経て、末の松山、砂押川の津波の遡上の話をし、最後はモニュメントで慰霊をして終わるというコースです。

多賀城高校には多くのお客様に来ていただいて、

年間約 1,000 人ほどがいらっしやるので、半分以上の方に町歩きボランティアを行って、多賀城を襲った津波について説明をしております。多賀城を襲った津波には特徴がありまして、東北大学災害科学研究所の今村先生がNHKでも取り上げましたが、都市型津波、河川津波と言ひ、沿岸部を襲う津波とは性質が違うので、都市型津波、河川津波の恐怖というのを我々でしっかりと伝承していこうと活動しています。外国のお客様も多いので英語版もあります。また、国府多賀城などの内陸の方の案内も出来ればということで作っております。多賀城は史跡も多いので、そういったところも盛り込みながら案内をしていこうということで始めています。これが実際の町歩きボランティアの様子です。中国から来た生徒に説明しているところです。これはシカゴの高校生に英語で説明をしました。末の松山では、ここが津波の被害が一番ひどい史跡なので、貞観地震などの話しながら歴史的な津波と3.11の津波を結びつけて案内をしています。



多賀城高校は、県外や海外からのお客様が多いので、ワークショップなどもしています。これはロータリークラブの皆さまからのご支援もありましたが、毎年行っている全国の高校生を呼んでの交流会で、東日本大震災メモリアルデイの様子です。2017年は全国29校の200名の生徒が来ました。

もう一つの大きな活動が、この前も多賀城駅でやりました募金活動です。先般は大阪北部地震の義援金の募金活動を行いました。65,000 円くらい集まりまして、校内での募金分と併せて10万円を枚方西高校に直接届けました。



多賀城の方々是非常に協力的で他の箇所より倍近く集まります。額ではありませんが、温かい言葉をかけてもらいながら行うことが出来ました。テーブルの上にも印刷配布していただきましたが、東日本から西日本の高校生へのメッセージということで、こういったものを作って、東日本大震災直後からのご支援、それに対する我々からの御礼という形でホームページを作って募金活動の

様子とか町歩きの様子を発信しました。西日本豪雨の義援金は大阪の地震の3倍くらい集まりました。学校と併せて20万円くらいになったのですが、これを今検討していますが、四国か倉敷の高校に直接届けられればと思っています。

以上、多賀城高校の活動を簡単に説明しました。これは、地域の皆さま、ロータリークラブの皆さまに支えられての活動です。今後も一生懸命取り組んでまいりますので、よろしく願います。今日はありがとうございました。

スマイルボックス

S・BOX委員会

・赤坂さん、原田先生、卓話ありがとうございます。

二戸RC工藤様ようこそ

佐山、伊東、林、岩井、鈴木(誠)、穀田、横田、宮城 阿部(新)、引地芦澤、小島、藤田、佐藤(由)各会員
 ・利府RC例会でカレーを食べてきました。今日もまさかのカレーです。インターアクト頑張りましょう！

小向会員

・昨日、今年も元気に「みなとのまち 100km徒歩の旅」がスタートしました。今日は台風の最中、利府から多賀城自衛隊駐屯地へ向けて一生懸命歩いていきます。8/12 塩釜神社のゴール目指して頑張ってください。

鈴木(貴)会員

本日の合計 18,000 円

出席率報告

出席委員会

本日第 2235 例会出席率 20/35(-1)名 58.82%
 前々回第 2233 回例会修正出席率 82.35%

○メイクアップ

8月6日(月) 利府ロータリークラブ

宮城 順 会長、引地 辰男幹事
 佐藤 良一、大久保美津子、小向 裕子各会員

8月7日(火) インターアクト年次大会

宮城 順 会長
 大場 光夫、阿部 新康、赤坂 泰子各会員

次回卓話

8/23 テーマ:「会員スピーチ」 佐藤 由理 会員

閉会点鐘

13時30分

文責:雑誌会報委員会 小島 邦道